

青年部会広報 絆 - K I Z U N A - No.012 2013.1

(社)群馬県トラック協会青年部会・広報委員会編集

● 副部会長より部会員のみなさまへ ●



本年度より(社)群馬県トラック協会青年部会の副部会長を仰せつかりました前橋支部の堀越でございます。日頃より当部会の活動にご協力をいただきましてありがとうございます。当部会では総務委員会を担当しており、土屋総務委員長とともに「仲間づくり」や「情報交換」の場を部会員みなさまへ提供できればと思っております。

しかしながら、昨今の景気低迷による仕事の都合から、部会活動に参加される方々が僅かではございますが減少傾向にあると感じています。私は副部会長の中では一番年下ですし、部会構成員の中でもちょうど中間に当たりますので、みなさまの様々なご意見、ご相談等を気兼ねなくお話しいただき、是非とも当部会をみなさまの研鑽や事業運営に「良い意味」でご活用していただければと思います。みなさまのご加入、そして活動へのご参加を心よりお待ちしております。

(副部会長 前橋支部幹事 堀越泰毅)

● 研修委員長より部会員のみなさまへ ●



研修委員会の委員長を務めます佐波伊勢崎支部の千吉良です。日頃より当委員会の運営にご協力をいただき誠にありがとうございます。今回は当委員会の主な活動と今後の予定を報告させていただきます。当委員会は、桐生、館林、太田、大泉、佐波伊勢崎の各支部合わせて9名の幹事によって企画運営しております。主な活動としては「夏季研修会」と「新春研修会」、その他研修事業の開催となります。部会員のみなさまに少しでも役に立つ、そして興味を持ってもらえるよう企画しておりますが、参加部会員の出席がまだまだ少ないように思えます。今年度内の活動として、1月と3月に「青年経営者養成セミナー」の開催、そして2月に恒例となりました「新春研修会」の開催を予定しておりますので、部会員みなさまの積極的なご参加をお願い申し上げますとともに、当委員会へのご意見、ご要望等がございましたら、どしどしと各支部幹事または事務局へご連絡をお願いいたします。

(研修委員長 佐波伊勢崎支部幹事 千吉良薫)

❀ 第8回(平成24年度第2回)群馬県トラックの森づくり事業に参加 ❀

- 開催日 10月14日(日)
- 場 所 群馬県トラックの森
- 参加者 部会員22名(総勢194名)

平成21年度から開始して、今回で第8回目となるトラックの森づくり事業。私自身としては3回目の参加です。天候に恵まれた当日は、他支部の方々とコミュニケーションし



ながら2時間程度の下草刈り作業を行い、爽快な汗を流しました。子供たちも楽しそうにイベントのご褒美にご満悦でした。これからも参加して、ささやかですがCO2の削減に貢献したいと思います。

(大間々支部幹事 板橋俊介)

● 第3回(社)群馬県トラック協会青年部会チャリティゴルフコンペを開催 ●

- 開催日 10月28日(日)
- 場 所 しぶかわカントリークラブ
- 参加者 来賓2名・部会員22名
- 募金額 55,550円

第3回目を迎えた(社)群馬県トラック協会青年部会チャリティゴルフコンペが北毛ブロックを会場に開催され、ご来賓をはじめ部会員総勢23名の参加者が集いました。

当日は、あいにく小雨模様の天気にもかかわらず、ご来賓として早朝より開会式に駆けつけて下さいました三浦会長様、またプレイヤーとしてご参加下さいました堀越副会長様にはこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、今回もご参加されたみなさまの善意により多額の浄財をチャリティ基金に寄せていただきましたこと重ねて御礼申し上げます。

今回のコンペでは、ベスグロ、完全優勝を獲得させていただきましたが、次回開催の際は、より大勢の参加者の中で優勝できればと思いますので、部会員みなさまの挑戦をお待ちしております。

(研修委員長 佐波伊勢崎支部幹事 千吉良薫)



● 関東トラック協会青年部会平成24年度研修見学会に参加 ●

- 開催日 11月16日(金)
- 場 所 日産自動車(株)栃木工場・宇都宮グランドホテル
- 参加者 部会員9名(総勢107名)

今年度の関東トラック協会青年部会研修見学会が栃木県青年部会みなさまのご尽力により日産自動車(株)栃木工場で開催されました。

栃木工場は、車両組立、車軸、鋳造の3部門に分かれた従業員4,426名により年間288,000台もの車両を生産するとともに、696名の実験部を要する、日産自動車の中でも特にハイクラスに位置する国内外向け高級車の生産工場です。

世界的にも高品質な車両・部品の一貫生産、かつ完全受注生産工場である本工場の生産・組立ラインを、溶接ロボットによるホワイトボディー生産から、従業員の手による駆動系、内装トリムの取付け作業、最終のシャシダイチェックまでの工程をととても間近で見学出来ました。機械ロボットによる精密かつスピーディーな生産はもちろんのこと、特に従業員(人間)が2人1組で作業するエンジン、ミッション、デフ、足廻り等の駆動系の取付け作業の素早さ、的確さには驚かされました。人の負担を軽減して効率よく持続させ、かつ誤作業を防止する為の工夫として、工具の置き場所や取付け部品の配布方法も良く考えられて



おり、一步よりも半歩で動く、中腰よりも無理のない姿勢で作業できる環境が整備されています。

工場見学後には同敷地内で最新のハイブリッド車フーガや電気自動車リーフの同乗体験を行い、会場を移して各県代表者による研修発表会を行いました。締めくくりの交流会では、栃木県のマスコットキャラクター「とちまるくん」と福島県出身で栃木県在住のシンガーソングライター「えりのあ」氏が笑顔一杯のステージで盛り上げ、会員相互の親睦を深める良い機会となりました。（太田支部幹事 滝澤将司）



● 第13回全国物流青年経営者中央研修会東日本大会に参加 ●

- ▶ 開催日 12月7日（金）
- ▶ 場 所 東京都トラック総合会館
- ▶ 参加者 部会員3名（総勢111名）

去る12月7日、第13回全国物流青年者中央研修会東日本大会に参加して参りました。

メインとなる研修会の講師は早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 川村亨夫教授です。国際情勢と日本の政治経済の行方など様々な目線、切り口で分かり易くお話をいただきました。中でも一番釘づけになったのが、経営者の資質の話でした。教授曰く、環境の変化にいち早く対応できるのが良い経営者。その時、その時代の環境変化を理解して新しいことに率先して取り組む者で、いつも目線を低くして何が起きているのかを考え、現場を重要視する。つまり、お客様を大切にしてクレーム等を無くし、従業員を大切にして良い仕事出来る環境を整える。このことに一生懸命努力する者が良い経営者である。また、世の中は8割の衰退組と2割の勝ち組で形成されていて、前者はその日暮らしの対策なし、後者は未来を考えて一生懸命対策を施すそうです。

当業界のこれからの対策としては、良いドライバーの確保と良い労働環境の整備です。良いドライバーを確保するには、良い労働環境、つまり働きやすい環境づくりに力を入れることが必要で、それらの対策を施すには、無理な運賃値下げやサービス手待ち時間等の様々な問題を解決して、荷主企業から本当の対価にあった運賃を収受出来る環境づくりが必要だと私は思います。その実現に向けて、もっと自社について理解して、物流について学びたいと認識した研修会でした。（副部会長 館林支部幹事 磯野哲也）



■ 前橋支部 第17回動くトラック絵画コンクール表彰式及び展示会を開催 ■

- 開催日 10月20日(土)
- 場 所 前橋問屋センター
- 参加者 部会員17名(総勢214名)

当青年部会では、前橋支部主催の交通事故・労働災害事故防止決起大会において、第17回動くトラック絵画コンクール表彰式を開催し、当青年部会で選考された、優秀賞、入選、特別賞の受賞者9名の子供たちを招き、表彰状と額縁、お米5キロ、文房具セット等を贈呈いたしました。

また、前橋まつり開催中の10月6日(土)、7日(日)の両日、文化交流広場としてダンスや和太鼓演奏が行われている「にこにこパーキング」において入選作品の展示会を開催し、お祭りに訪れた多くの方々に子供たちの力作を觀賞していただきました。

(副部会長 前橋支部幹事 堀越泰毅)



■ 桐生支部 桐生市交通安全フェスティバルに参加 ■

- 開催日 10月21日(日)
- 場 所 桐生市役所
- 参加者 部会員14名・他

当青年部会では、桐生市役所で行われた桐生市交通安全フェスティバルに親会と合同参加いたしました。

「社会と共生するトラック」をテーマに、青年部会主催として「第17回動くトラック絵画コンクール」の当支部入選者の表彰式と出展作品の展示会を行いました。

また、親会主催による恒例の「孺恋高原キャベツ無料配布」を午前と午後の2回行いました。配布30分前から長蛇の列となり、嬉しそうにキャベツを抱える市民が会場に溢れ返り、イベントに花を添えることが出来ました。来年は、絵画コンクール入選者をメイン会場で表彰する案も浮上しており、地域密着のイベントとして今後も発展させていきたいと考えております。

(副部会長 桐生支部 佐藤稔也)



■ 館林支部 第17回動くトラック絵画コンクール表彰式及び展示会を開催 ■

- 開催日 10月13日(土)
- 場 所 館林警察署
- 参加者 部会員10名(総勢90名)



当青年部会では、第17回働くトラック絵画コンクール出展作品より、支部長賞1点、青年部会長賞1点、特別賞2点を選出し、館林警察署で開催された館林支部主催の交通事故・労働災害防止総決起大会において、表彰式と展示会を開催いたしました。

当日は、各賞を受賞した子供たちを会場へ招き、館林支部長並びに館林支部青年部会長から賞状と記念品を贈呈するとともに、大会会場内へ出展作品全19点を展示して、大勢の大会参加者へご披露いたしました。

(副部会長 館林支部 磯野哲也)



■ 佐波伊勢崎支部 玉村町産業祭に参加してチャリティ活動を実施 ■

- 開催日 11月18日(日)
- 場 所 玉村町役場
- 参加者 部会員16名

当青年部会では、交通安全啓発活動及び広報活動の一環として、玉村町商工会主唱による産業祭にブースを出展し、恒例のチャリティバザー&抽選会を行いました。部会員企業や荷主企業から譲り受けたアウトレット商品をイベント会場でバザー販売するとともに、前日から仕込みを行った「玉こんにゃく」を販売し、準備した400食を完売しました。また、家具調コタツや電気カーペット、セラミックヒーターが当たる1回200円空くじなしの抽選会も大人気で、当ブースは終日大勢の来場者で賑わいました。

なお、当日のチャリティ収益金の一部を交通遺児育英基金に充てていただくよう、12月15日(土)、佐波伊勢崎支部主催の年末年始交通事故労働災害防止総決起大会において、(社)群馬県トラック協会 三浦会長に寄贈させていただきました。

(佐波伊勢崎支部幹事 橋本力)



■ 吾妻支部 青年部会研修会（支部定例会）を開催 ■

- 開催日 12月2日(日)
- 場 所 伊香保温泉 福一
- 参加者 部会員9名（総勢24名）

当青年部会では、吾妻支部定例会において、親会と合同で研修会を開催しました。初めに、県下における交通事故の現状を



交えて吾妻警察署 深澤署長様よりご挨拶をいただき、その後、中之条労働基準監督署 佐藤署長様より「労働災害防止について」、群馬県トラック協会 齊藤常務理事様より「もしあなたの会社に監査通知がきたら～もし私が監督官だったら～」、吾妻警察署 横山交通課長様より「交通事故防止について」と、各位からご講演をいただきました。

質疑応答の際には、現在、私たちトラック運送事業者が抱える課題について、青年部会員から忌憚のない要望や質問が数多く寄せられ、参加者それぞれが深く考えさせられる場面もありました。

今回の研修会で学び得たことを今後の事業経営に役立てたいと思います。（吾妻支部幹事 小池靖之）



お知らせ 群ト協青年部会ウェブページのご案内

青年部会では、群ト協ホームページ内に青年部会ウェブページを公開しています。活動予定や活動状況等、様々な情報を適宜更新して参りますのでご活用願います。

なお、ウェブページに関するご意見、アイデア等は青年部会事務局へご連絡下さい。

▶ 群ト協青年部会ホームページ <http://www.gta.or.jp/seinen/index.html>



お勧めの一冊



「日本再創造プラチナ社会の実現に向けて」 小宮山宏著

今回ご紹介する書籍は、東京大学元総長で三菱総研の理事長である小宮山氏が、日本人が現実的に発展を得ることが出来る「未来へのビジョン」について、東日本大震災後に書いた一冊です。日本の少子高齢化、資源の少ない国家、低い食料自給率、CO2による地球温暖化、都市の過密と地方の過疎、日本でやっているのは競争力の無い製造業など、多くの課題を抱える「課題先進国日本」が、これらを同時並行で解決することで、もう一度世界をリードする国にしていくための考え方と手段を紹介したものです。特に、個人の足下の課題解決を積極的に取り組むことで成長を促進し、それが日本の未来につながっていくという著者の論理に共感を覚え、勇気を得ました。

（安中支部幹事 新井規之）

小宮山宏（コミヤマヒロシ）：1944年栃木県生まれ。2009年3月に東京大学第28代総長退任後、同年4月に三菱総合研究所理事長、東京大学総長顧問に就任。現在の日本を他国に先駆けて課題が顕在化している「課題先進国」と定義し、この状況を困難であると同時にチャンスと捉え、国際社会で真の競争力を持つために我々は何をすべきかを説く。また、物質とエネルギーの視点から地球が持続的であるために、2050年までの長期を見据えたロードマップ「ビジョン2050」を提唱する。専門は化学システム工学、地球環境工学、知識の構造化。地球温暖化問題の第一人者でもある。著書に「地球持続の技術」、「知識の構造化」など多数。



健全経営を目指して

失敗を恐れず、本気でつきあえる仲間づくりと情報交換の場を創造する。

社団法人群馬県トラック協会青年部会